

「入院診療計画書」

氏名

様

病名：







症状：

治療法：子宮内膜掻爬術

5・東病棟

階 A・B

号室

	入院（手術前日）	手術当日 入室前	帰室後	術後1 病日（退院日）
	月 日	月 日		月 日
目標	手術の説明が理解でき手術に望むことができる		手術の合併症がなく経過が良好である	退院後の生活や過ごし方について理解できる
説明・指導	<div>・入院生活について説明します</div> <div>・医師から手術について説明があります</div> <div>・手術に必要な物品を確認します</div>	<div>・ご家族は手術前に来院し病棟で待機して頂きます</div> <div>・病棟から離れる際は必ずお知らせください</div> <div>・手術時間に変更がある場合は説明します</div>	<div>・医師からご家族へ手術内容について説明をします</div> <div>・痛みがある場合や気分が悪い場合はナースコールでお知らせください</div>	<div>・次回受診日までの日常生活の注意点を説明します</div> <div>・少量の性器出血は続きます</div> <div>・性器出血の増加や塊が出た場合、 38℃以上の発熱や強い下腹部の痛みがある時にはお知らせください</div>
治療・処置	入院当日の午後に麻酔科の受診があります	<div>・麻酔は、全身麻酔で行います</div> <div>・麻酔の後に尿の管を入れます</div>	<div>・医師の指示のもと、酸素吸入をします</div> <div>・呼吸数、体温、脈拍、血圧を1時間毎に2回測定します。</div>	<div>・体温、脈拍、血圧を測定します</div> <div>・歩行開始後、尿の管を抜きます</div> <div>・医師が退院診察を行います</div> 
検査	身長・体重を測ります	<div>・手術室で心電図モニターのシールを体に貼ります</div> <div>・血圧計や、酸素量を測る器械を装着します</div>	手術室から病室へ戻ります	採血があります
内服・点滴	<div>・持参薬を確認します</div> <div>・夜眠れない時は、眠剤を飲むことができますので、看護師にお知らせください</div>	 手術中から点滴を行います		<div>・点滴終了後、針を抜きます</div> <div>・必要時、鎮痛剤や抗生剤の内服薬があります</div> 
食事	<div>・入院当日の昼より食事ができます</div> <div>・手術前日の夕食後は何も食べられません</div> <div>・OS-1という経口補水液を飲みます</div>	<div>説明した時間まで飲水はできますが食事はできません</div> 	飲水は説明があるまでお待ちください	<div>・手術翌日の朝食から食事ができます</div> <div>・退院後は、食事制限は特にありません</div>
生活・行動	特に制限はありません	<div>・静脈血栓予防のために弾性ストッキングを着用します</div> <div>・寝衣のまま、歩行または車椅子で手術室へ向かいます</div> <div>・出発前にトイレを済ませてください</div> 	<div>・手術室から病室へ戻ります</div> <div>・ベッドで安静に過ごします</div> <div>・麻酔が覚め、看護師の付き添いのもと歩行ができれば、尿の管が抜けます</div> <div>尿意がある際は看護師にお知らせください</div> 	
清潔・その他	 入浴ができます 	ショーツ以外の下着や金属類は全てはずしていただきます	ナプキンの交換、出血の確認をします	診察後、異常がなければシャワー浴ができます

注）病名等は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることがあります。

注）入院期間については、現時点で予想されるものです。 注）原本患者保管・自署以外のサインは印が必要です。

在宅復帰支援計画

無・有（ ）

岩手医科大学附属病院

総合的な機能評価

無・有（ ）

特別な栄養管理の必要性

無・有

年 月 日

医師名

看護師名

在宅復帰支援担当者

本人家族氏名